

# 地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制 構築モデル事業

— 今治モデルとは —



東京海上日動



今治市  
IMABARI CITY

令和8年2月13日

東京海上日動火災保険株式会社愛媛支店

今治市



東京海上日動

津村 侑子



今治市役所

住吉 淳



**基本情報**  
位置・地勢: 愛媛県北東部、瀬戸内海に面する港町。しまなみ海道の起点  
人口: 145,611人  
世帯数: 76,463世帯 (2025年12月末時点)  
歴史・文化: 村上海賊、今治城、丹下健三氏など著名建築家による建築群  
FC今治: J2所属。地域密着型クラブとして教育・地域連携活動も展開中



松山市

西条市

**今治の“日本一”**  
今治タオル: 全国シェア約60%、品質とブランド力で日本一  
しまなみ海道: 海を渡る世界的サイクリングロードで、年間33万人のサイクリストが訪れる  
日本最大の海事都市: 海運・造船・船用工業が集積し生産量や集積度等日本一の規模を誇る  
業務用混合調味料市場シェアトップ(日本一)の企業立地

令和6年度

- －取組背景
- －今治モデルの構築

令和7年度

- －事業継続
- －スキルアップPG
- －横展開

令和6年度

- 取組背景
- 今治モデルの構築

令和7年度

- 事業継続
- スキルアップPG
- 横展開

## 取組背景

### 多様な人材のエンパワメント × 脱炭素経営

課題同士を掛け合わせて 関わりしろ をつくる

#### ■バラバラ

- 脱炭素(施策)は、企業サイドも支援する側も **ノウハウ(情報)・マンパワー・費用不足**であり、地域での**脱炭素のプライオリティ低い**
- 産業特性的に(製造業中心)**女性の就業率が低い**(やりたい仕事が見つからない、知らない)という地域課題



座学=眠い、自分にとって遠い



#### ■一本化

- 経営課題と脱炭素化の取組等に**つながり**を見出し、脱炭素化を自分ごと化してもらう
- 働きがいのある職場は脱炭素も進んだ職場では?というように**ストーリーを組んで一本化**(仮説立て)した
- 所属・役職・性別を超えて当該テーマを考える体制(**コミュニティ組成**)をとった(国でも県でもやってない、且つ縦割り打破)



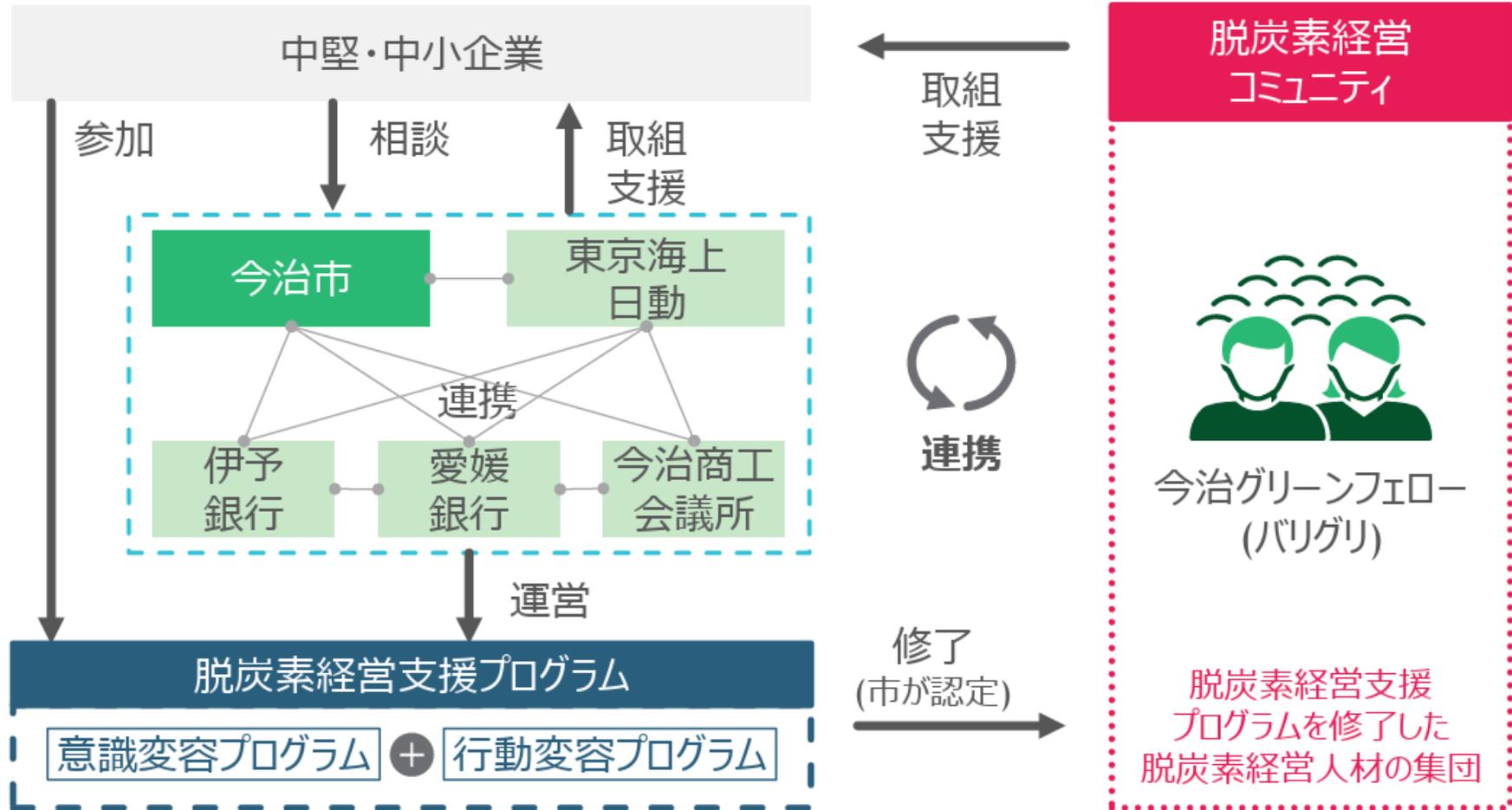
カードゲーム

- 学びの3要素全てを包含**(座学、FW、考察・提案)
- 楽しい・身近**

**特徴1 座組の構築・無理のない範囲での役割分担**

各機関の特性を活かした役割分担とプログラムの提供

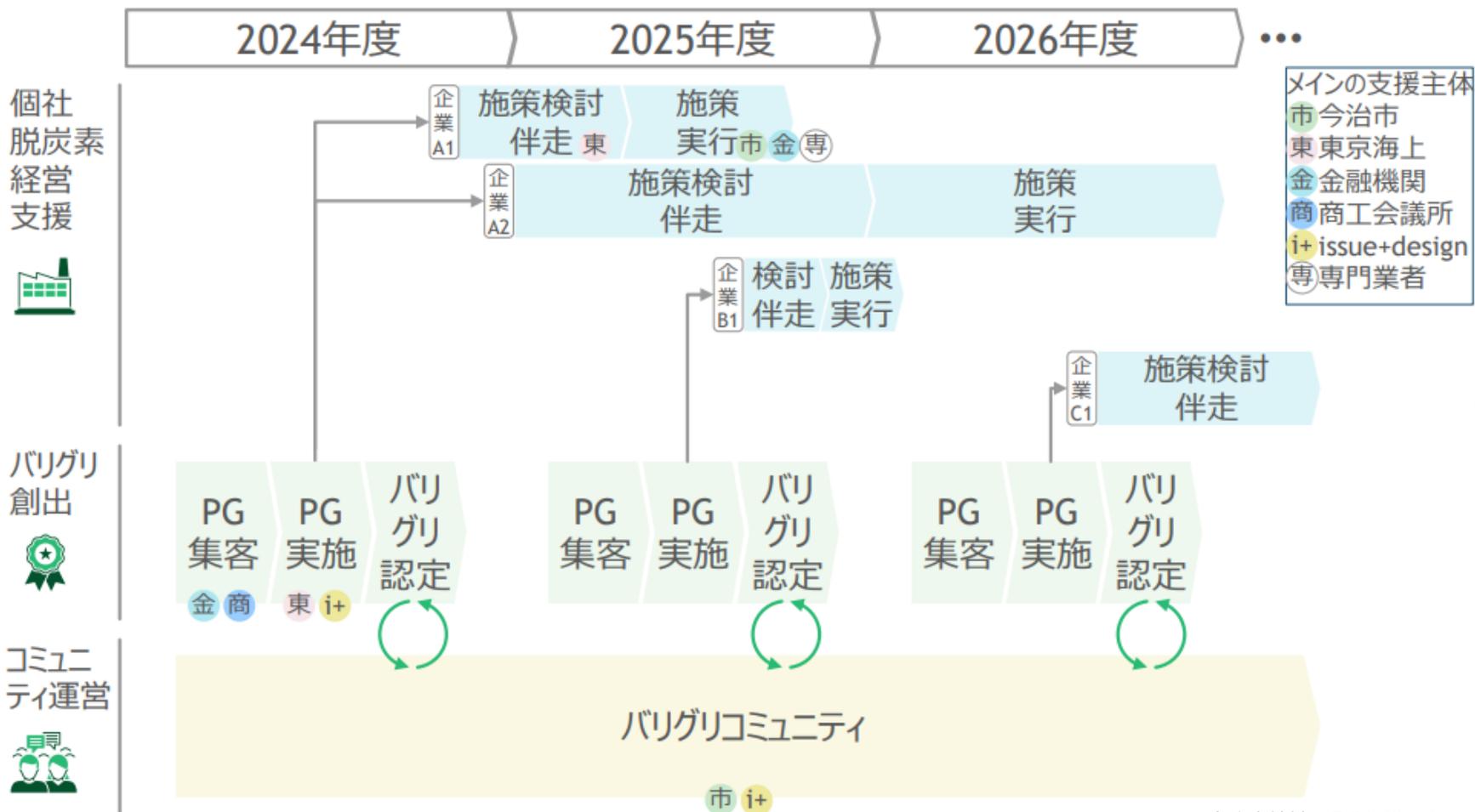
■ 座組



## 特徴1 座組の構築・無理のない範囲での役割分担

各機関の特性を活かした役割分担とプログラムの提供

### ■役割分担



## 特徴2 意識変容～行動変容～行動サポートまで一貫したPG(ありものの組合せ)

意識変容を入口に、カードゲーム体験で「脱炭素」に対するハードルを下げる

### ■STEP1 意識変容PG 「今治脱炭素ビジネスカレッジ」



- 開催日  
 ①2024年10月17日(木) **(27名)** ※2回実施  
 ②2024年10月18日(金) **(13名)**
- 内容  
 気候危機・脱炭素の基礎知識(20分)  
 脱炭素まちづくりPLAY!(90分)  
 脱炭素事業アイデア構想WS(70分)
- 事後アンケート(N=22)
- **100%** プログラムを楽しめた
  - 64% 実際に脱炭素に向けて行動したい
  - 27% 脱炭素を自分事として意識した
  - **95%** 今後、勉強会やコミュニティに参加したい

### ■STEP2 行動変容PG 「今治市脱炭素経営スクール」



- 開催日(参加者)
- ①2024年11月 5日(火) **(28名)**
  - ②2024年11月21日(木) **(25名)**
  - ③2024年12月 3日(火) **(25名)**
  - ④2024年12月12日(木) **(27名)**
- 内容
- ①脱炭素経営の基礎やGHG測定方法を学ぶ
  - ②自社のGHG算定結果共有・人材育成/社内脱炭素経営機運の醸成
  - ③経営課題と脱炭素経営の関係性/先進事例考察
  - ④2030年までの脱炭素化ロードマップ策定演習
- 事後(第4回目)アンケート(N=14)
- 回答者 **100%**が4回のスクールは有意義だった

### ■STEP3 行動サポートPG 「脱炭素コンサルジュ」※

※現在は東京海上スマートGX株式会社がスマートe-ナビとして提供している



※当該写真は今治市が令和6年度に実施した類似業務「中小企業等先導的脱炭素化推進業務」のものです

- サービス提供企業(全7社、以下業種)  
 造船業、観光サービス業、印刷業、電気通信設備/土木・建築事業、交通安全施設工事・資材販売、タオル製造・販売、官公庁
- 内容  
 コンサルジュ(専門家)が中小企業の経営課題を深掘りし、最適なCO2排出量削減ソリューションを提案できるように伴走支援



## 特徴3 コミュニティ(人材エンパワメント)で脱炭素経営を推進

行動変容PG修了者をバリグリ(地域の脱炭素経営推進役)に。ビジョン・ロゴも作成

### ■バリグリ認定



認定式

2024年1月17日(金)

**バリグリ 17社19名(内女性9名、以下業種内訳)**

放送事業、造船、船用、交通安全施設工事、観光サービス、タオル、繊維・染色、繊維製品企画販売、ガス、電気通信設備事業、印刷、電気機器、金融、保険業、行政

未来構想ワークショップ

2024年2月22日(土)

内容

地域ビジョン議論

次年度以降の活動の整理



### ■ビジョンロードマップ・ロゴ作成



### ■第二世代交付金採択(事業継続性確保)

事業概要【脱炭素×多様な人材のエンパワメントで地域課題を解決！地域ぐるみでの脱炭素化プランディングプロジェクト】

申請者	愛媛県今治市	初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度	期間中の総事業費 (令和5年度分)	38,963千円 (12,921千円)
経費の種類	ソフト 事業	委託費 事業	のり 印刷費
経費の金額	5,143千円	545千円	621千円
事業分野	ローカルイノベーション分野		
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内内外の人材がコミュニティを形成しながら(エンパワメントを活用し)企業や地域の脱炭素化に取り組む。</li> <li>脱炭素経営による中堅・中小企業の生産性向上が人材不足解消など経営課題解決に寄与するのみならず、脱炭素化が地域課題を解決するツールとして市内外に認識され、脱炭素×地方創生が進んだ地域であるという地域ブランドイメージを確立できる。</li> </ul>		
事業概要・主な経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>【事業経費】                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○脱炭素経営支援プログラム提供                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・合資力強化企画:運営業務(委託料)5,143千円</li> <li>・戦略的情報発信業務(委託料、ほか)545千円</li> </ul> </li> <li>○フリースタッフ相談センター設置及び先導的脱炭素化ソリューション実装事業                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般産業系電力のデジタルプラットフォームを介しての事業所等への脱炭素システム構築(委託料)5,000千円</li> <li>・公共施設一棟LED化期間調査システム利用(使用料)621千円</li> </ul> </li> <li>○多様な人材による脱炭素コミュニティ形成・事業構築事業                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明会・セミナー・アイデア構想ワークショップ等企画運営業務(委託料)1,612千円</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>		
地域の多様な主体の参画	地元経済団体・包括連携協議会、地元金融機関・市で構成した脱炭素経営支援協議会を活用し、愛媛県と連携しながら各種プログラムを提供する。また、脱炭素リソースを保持する企業と地元企業等とマッチングを図り、脱炭素を加速推進させる。地元学生や地域PMのプロジェクト参加を通じて情報発信力を強化する。	KPI ①今治市内の脱炭素化企業数(1+20社) ②今治市内の脱炭素化企業数(1+9社) ③脱炭素化プロジェクトの推進率(1+9社) ④地域の脱炭素化率(1+15人)	



- **コミュニティ**
- **心理的安全性**
- **様々なアイデア**
- **闊達な意見交換の場**

令和6年度

- 取組背景
- 今治モデルの構築

令和7年度

- 事業継続
- スキルアップPG
- 横展開

## 意識変容～行動変容～行動サポートPGを着実に実行

今期は**12社14名**が**2期生**として誕生(認定式は2月13日)

### ■STEP1 意識変容PG 「今治脱炭素ビジネスカレッジ」



開催日(参加者)  
2025年6月6日(金)(**24名**)

内容  
脱炭素まちづくりPLAY！体験会  
本市の脱炭素施策説明  
気候変動に関する基礎知識  
カードゲームルール説明  
カードゲーム実施  
振り返り・意見の共有

参加者の声

- ・シミュレーションカードゲームはまさに**現実世界の縮図**だと感じた。脱炭素を**自分事化**しなくては
- ・**協力し合う**と温室効果ガス排出量が下がった

### ■STEP2 行動変容PG 「今治市脱炭素経営スクール」



開催日(参加者)

- ①2025年6月25日(水)(**21名**)
- ②2025年7月23日(木)(**17名**)
- ③2025年8月27日(火)(**17名**)
- ④2025年9月9日(火)(**17名**)

内容

- ①脱炭素経営の基礎やGHG測定方法を学ぶ
- ②自社のGHG算定結果共有・人材育成/社内脱炭素経営機運の醸成
- ③経営課題と脱炭素経営の関係性/先進事例考察
- ④2030年までの脱炭素化ロードマップ策定演習

参加者の声

- ・**GHG排出量が見える化**されると、具体的な対策方法を考えることができる
- ・**他社の人と話す**ことで新しい切り口が発見できそう

### ■STEP3 行動サポートPG 「脱炭素コンサルジユ」<sup>※</sup>

※現在は東京海上スマートGX株式会社がスマートe-ナビとして提供している



※当該写真は今治市が令和6年度に実施した類似業務「中小企業等先導的脱炭素化推進業務」のものです

サービス提供企業

現在、東京海上日動火災保険(株)を通じて調整中

## 全4回+成果報告会を予定

1月22日に第4弾、2月13日に成果報告会を開催。**コミュニティの場(意見交換)を通じて市や県の施策利用促進**に寄与!

### ■第1弾

#### J-クレジットの勉強会



開催日(参加者)

2025年8月5日(金)(**30名**)

内容

【講義】J-クレジットの創出・活用について  
(株)バイウィル)

参加者で、脱炭素経営・J-クレジット創出に向けて何が出来るかを考えるワークショップ  
(グループディスカッション)

参加者の声

- ・ワークショップで出た脱炭素アイデアが抽象的なものでなく具体的なもので、バリグリーを中心とする**コミュニティが育っているの**を感じた
- ・参加している**高校生の意見や考え**(ものの見方)は今の大人にない感覚。就職先として認知してもらうためにも参考にしたい

### ■第2弾

#### 「おしえて!かとうさん」



開催日(参加者)

2025年9月25日(水)(**18名**)

内容

・【講義】フィールドワークの技法レクチャー  
(株式会社 しゃかいか!)

・参加者で、オープンファクトリーで良質な問いをぶつけるためのワークショップ(グループディスカッション)

参加者の声

- ・オープンファクトリーの前に**疑問点や目的を整理**することで、より密度の高いフィールドワークができる(次回につながる)と感じた
- ・情報発信の手法を学ぶことで、**継続していくための工夫**とその必要性について理解できた

### ■第3弾

#### 「オープンファクトリー」



開催日(参加者)

2025年11月20日(水)(**18名**)

内容

・西染工(染色加工会社)の脱炭素経営の現場を見る

- ・**省エネが脱炭素化に結果としてつながっていったのが面白かった**
- ・**多能工化や製造ラインの分散操業化が社員の働きやすい環境整備にもつながっており、脱炭素化と働きがい・やりがいは両立するもの・背中合わせであることが分かった**

## 全4回 + 成果報告会を予定

1月22日に第4弾、2月13日に成果報告会を開催。**コミュニティの場(意見交換)を通じて市や県の施策利用促進**に寄与！

### ■第4弾 第3弾振り返りと成果報告会 に向けて



開催日(参加者)  
2026年1月22日(木) **(7名)**

内容  
オープンファクトリー振り返り  
次年度以降のアイデア構想ワークショップ  
成果報告会での発表事項整理

#### 参加者の声

- みんなの**事業アイデア**が**具体的且つ現実的**なものへと変化している
- **バリグリ同士がコラボしてやる事業アイデア**が生まれており、ワクワクする

### ■ファイナル バリグリFES2025！

# バリグリFES2025！

今治市は令和5年11月にゼロカーボンシティ宣言を行いました。令和6年度には「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」採択や、令和7年度には同事業の連続採択(脱炭素経営支援「今治モデル」の県内2市町への横展開)そして愛媛県で初となる脱炭素先行地域に選定されるなど、取組を加速させています。今回、皆さんがとっつきにくい「脱炭素」についてみんなで楽しく取り組んでいけるようにバリグリFES2025！(今年度事業成果報告会)を開催します。

バリグリFES！では、脱炭素経営支援「今治モデル」を通じて脱炭素経営について学んだバリグリ2期生の「声」や、バリグリ1期生の更なるスキルアップに臨んだ「バリグリコミュニティ」の取組、また、今治モデルの横展開を受けた八幡浜市や内子町の担当者にも参加してもらい、地域脱炭素の実現に向けた「行動」の必要性について情報共有を図ります。

※バリグリ2期生認定式も開催

#### プログラム

- 13:00~13:05 主催者挨拶
- 13:05~13:35 第1部  
「今年度の活動紹介・成果報告」  
登壇予定企業：高松工業、千代田、今治市  
モデレーター：小宮 隆太氏(NPO法人issue+design)  
概要 ワークショップやファクトリーツアーといった活動を振り返り、得た知見や学び、成果をご報告いたします。
- 13:45~14:45 第2部  
「来年度に向けたアイデアトーク」  
登壇予定企業：高松工業、千代田、東海建設、愛媛銀行、伊予銀行、千代田建設、内子町、八幡浜市、愛媛県、今治市  
モデレーター：小宮 隆太氏(NPO法人issue+design)  
概要 脱炭素事業者、行政、支援事業者といった様々なステークホルダーのみなさまと意見交換いただき、1年をふりかえりながら、来年度に向けたアイデアトークを行います。
- 14:45~15:00 第3部  
「バリグリ認定式とフォトセッション」  
登壇予定企業：バリグリ2期生  
モデレーター：小宮 隆太氏(NPO法人issue+design)  
概要 バリグリ2期生を認定します。2期生としての抱負や今後の方向性からお話を聞き、次年度以降のバリグリ活動(3期生応募及びスキルアップPG)へ盛り上がりをつなげます。最後に記念撮影を行います。
- 15:00 閉会

参加費  
**無料** 金

**2月13日**  
13:00-15:00  
はーばりー

今治市片島町1丁目1-27  
※駐車場あり(参加費は無料)  
※今治港第1、第2、3号駐輪場

申込み

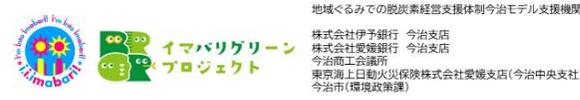
下記申込フォームより必要事項を記入の上、お申込みください

申込期限  
令和8年2月12日(木)

会場定員100名

主催、問い合わせ先  
今治市環境政策課(地域エネルギー政策室)  
TEL 0898-36-1535  
E-mail [kankyou@imabari-city.jp](mailto:kankyou@imabari-city.jp)

地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制今治モデル支援機関

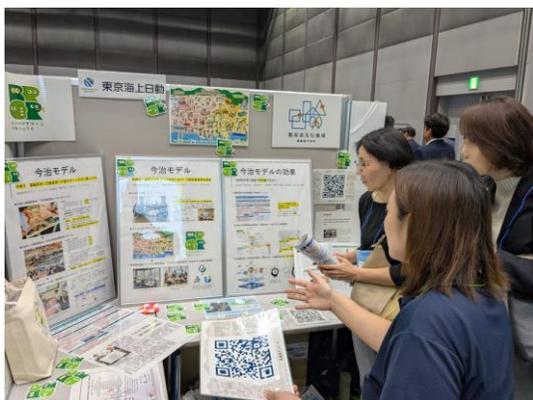


株式会社伊予銀行 今治支店  
株式会社愛媛銀行 今治支店  
今治商工会議所  
東京海上日動火災保険株式会社愛媛支店(今治中央支社)  
今治市(環境政策課)

## 支援機関とともに市外での講演活動

知識を備えた人材が各種方面で脱炭素経営の必要性をPR

■10月21日@高松でのLS四国ネットワーキング会で出展  
(LS四国主催)



■2月24日@愛媛県松山市でのえひめゼロカーボン 取組共有・交流会(愛媛県主催)

ZERO CARBON EXHIME 令和7年度 愛媛県ゼロカーボン・フロントランナー企業育成支援等事業

～ 企業 × 支援機関 ～ **参加無料**

### えひめゼロカーボン 取組共有・交流会

**参加メリット**

- ◆ 脱炭素経営に取り組む県内企業の実践事例や考え方、今後の方向性を知り、自社の取組のヒントが得られる
- ◆ 支援機関から支援事業（補助金等）の紹介を受け、今後の相談先や支援の受け方が明確になる
- ◆ 他企業や支援機関との意見交換を通じて、繋がりや創出・具体的な次の一歩が見つけれられる

**ネットワーキングセッション**

**企業間交流** 相談 意見交換 繋がり創出 支援 参加企業間での交流

**地域支援ネットワーク** 金融機関 県庁 市町 商工会議所 農工商 業界団体

**日時** 2026年 2月24日 (火) 14:00～16:00 (開場 13:30)

**場所** みなとまちまてる 多目的ホール 愛媛県松山市湊町8丁目120番地1

**プログラム** | 本事業の振り返り | 中小企業 取組報告 (○県事業への参加支援紹介 ○CO2排出量算定・削減事例紹介、他) | 支援機関 取組共有 (○県・市町の支援紹介 ○県内支援団体の支援実績・活動紹介) | ネットワーキングセッション

**申込方法** 以下二次コードから応募フォームに必要な事項をご記入のうえ、お申し込みください (申込締切: 2026年2月18日)

**お問合わせ** 愛媛県 環境・ゼロカーボン推進課 ゼロカーボン推進グループ 電話 : 089-912-2349 E-mail : kankyou@pref.ehime.lg.jp

■3月2日官民共創セミナー@愛媛県西条市での登壇(愛媛銀行主催)

トライアル企画 **参加無料**

## 官民共創セミナー × 脱炭素

～今治モデルを起点とした繋がり～

**E:N BASEとは**  
E:N BASEは、多様な主体が出会い、つながり、共に挑戦する共創の出発点。脱炭素に取り組んでいる「今治モデル」は、官民が協働することで課題解決に取り組んでいます。

**開催日時** 2026年 3月2日 (月) 13:30 ▶ 16:00

**定員** 各会場 30名、WEB 150名程度

**対象者** 地方公共団体職員、民間事業者 等

**開催場所** 【松山会場】 愛媛県庁 第一別館 6階トライアングルベース 【西条会場】 愛媛県庁 東予地方局 7階大会議室

**開催方法** 現地及びWEB開催(ZOOM) ※プログラム「ワークショップ」は現地参加者のみ

プログラム、申込方法は裏面をご確認ください▶

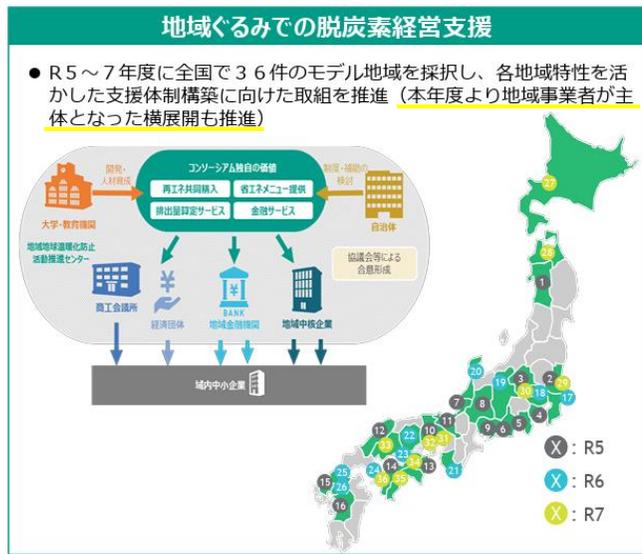
**主催** 愛媛銀行 × 愛媛県

**後援** 環境省中国四国地方環境事務所四国事務所

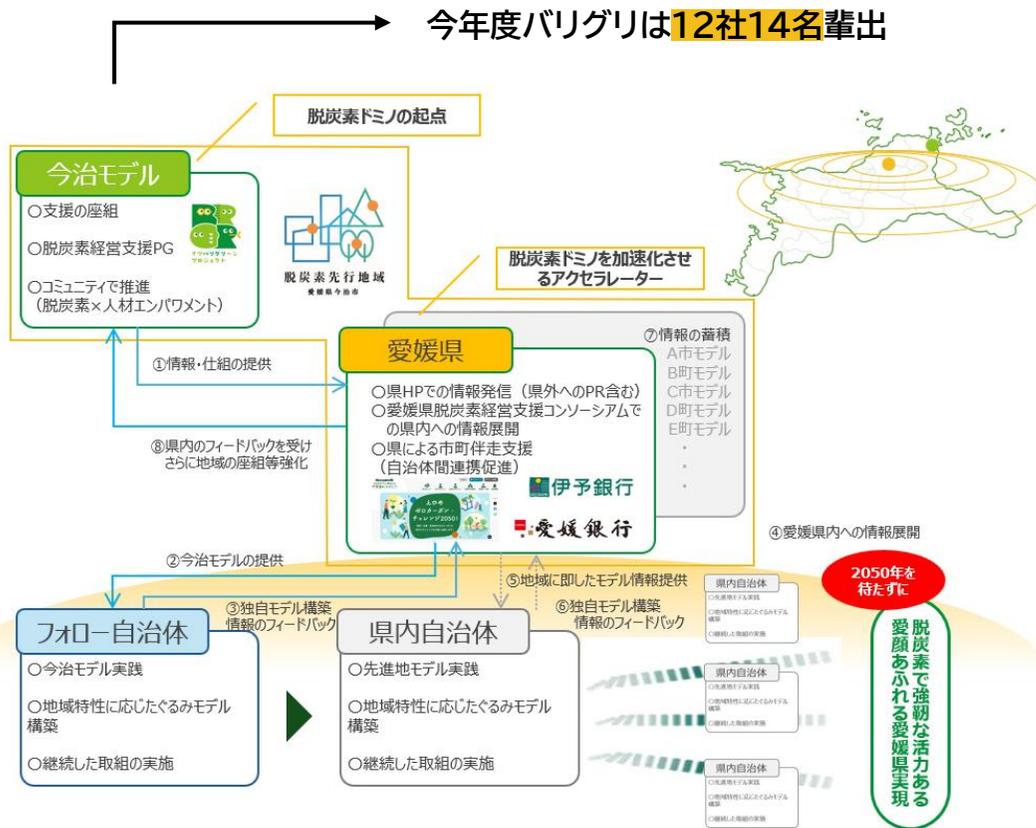
**協力** 今治市 E.C.C.A. 愛媛県地球温暖化防止活動推進センター 東京海上日動

## 今年度は県内市町へ仕組を横展開

2025年度も地域ぐるみ事業に採択。東京海上日動火災保険を代表申請者として、**八幡浜市・内子町**へ「今治モデル」を横展開！

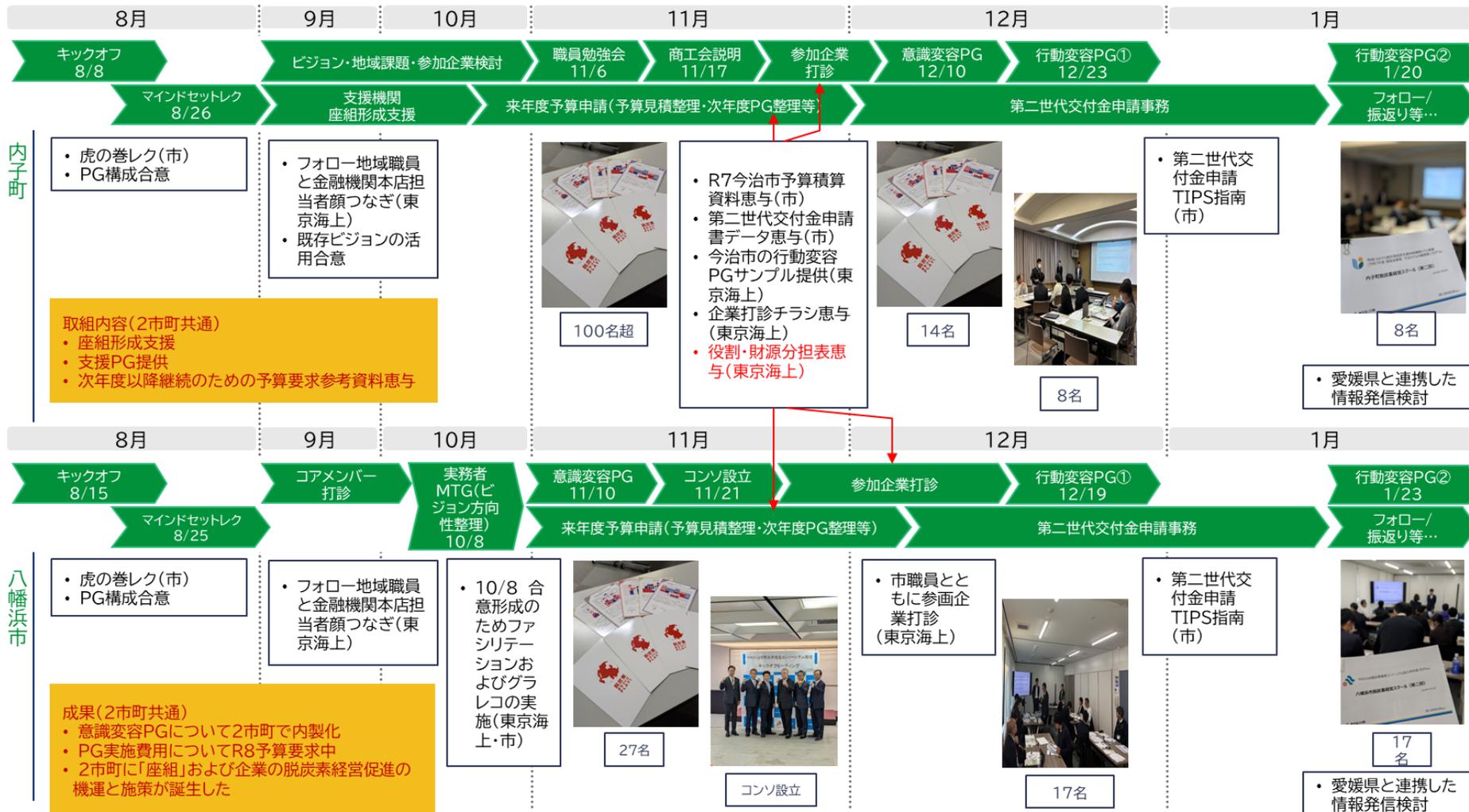


GX実行会議(第15回)資料3抜粋(内閣官房HPより)



## 今年度は県内市町へ仕組を横展開

心構えや、地域の実態に即したプログラム組成のアドバイス、プログラムの実演





これからも今治モデル地域を盛り上げていこうわい